

善行児童生徒推薦書

(様式1)

学校推薦順位 (位)	行為の種別 公共生活への貢献	
	行為の主な場所 (○で囲む)	○学校 家庭 地域
推薦される児童生徒 (個人 ○団体) (○で囲む) 大宮小学校児童会	学校・学年	名護市立大宮小学校 児童会
	ふりがな 氏名 (団体名)	たから しゅう (6年) きのよ だ さくら (6年) かみやま 神山みお (6年) ※ 代表3名他7名

推薦内容

1 経緯

4月初めに児童会役員(6年生)9名が、校長室を訪れ下記のような内容について相談があった。

- ① 従来の児童会の仕事をしっかりこなした上で、「大宮小学校を明るくしたい」「全校生徒のためにやりたいことがある」とのこと。
- ② 具体的には、手始めに「校舎廊下の中央線の塗り直し」「遊具の塗り直し」に取り組みたいということ。
- ③ 「ペンキで塗り直すことで、全校生徒の右側通行の意識が高まり、遊具をお色直しすることで学校が明るい雰囲気になる」とのこと

校長として児童会の提案を了承し、バックアップすることを約束し、月に一度経過報告をするようお願いした。

2 廊下中央線のペンキ塗り

ゴールデンウィーク明けから作業がスタート。朝の活動(7:50~8:10)を利用して、中央棟3階廊下から塗り始め、1学期終了時には中央棟2階廊下まで終了。2学期以降も継続する予定。すべての廊下の作業が終了するのは、3学期までかかると思われる。



3 遊具のペンキ塗り

夏休み、3日間で校舎中庭の遊具ペンキ塗りを実施。色のデザインも子どもたちが考案したが、今年実施される世界のウチナンチュ大会を念頭に、テーマを「ウチナンチュが移住した国々」とした。ブラジルやペルーなどの国旗をイメージしたデザインとなっている。





この作業を通して、子どもたちは移民や世界のウチナーンチュ大会について調べ関心を高めている。今後は、ウチナーンチュ大会と連動した交流会や大会への参加など、夢やアイデアを広げているようである。

推薦者	学校名	名護市立大宮小学校	公 印
	学校長名	比 嘉 悟	
	学校所在	〒 905-0011 名護市宮里5丁目13番22号 TEL 0980-52-3355	

※ 上記、「行為の種別」については、要項「行為の種別」の項目からあてはまる項目を選び、記入して下さい。また、団体の場合は、団体名と代表者名（3名）を書いて下さい。

アムス

校内遊具 世界の国旗色に



ウチナーンチュ大会控え

【名護】名護市立大宮小学校の6年生がこのほど、校内の遊具の色を塗り直し、さび付いていた遊具がカラフルに生まれ変わった。10月に開かれる世界のウチナーンチュ大会に合わせ、ペルーやアルゼンチン、ブラジルなど県系移民が多い国の国旗をイメージして色を塗った。（北部報道部・西倉悟朗）

世界の国旗をイメージして色を塗り直した遊具で、笑顔を見せる児童ら＝15日、名護市・大宮小学校

名護大宮小 児童会企画し塗装

お色直しに取り組んだのは児童会役員の6年生ら。学校の中庭にあるうんていやブランコといった遊具がさび付いていたことから、お色直しを計画した。

比嘉手悠さん(11)は「暑い中で大変な作業だったけど、やり遂げて達成感がある。後輩たちには安全に、思いきり遊んでほしい」と笑顔。許田さくらさん(11)は「前よりも明るい雰囲気になった。皆が遊びながら世界の国旗にも興味を持ってくれたらうれしい」と期待した。

城間盛涼さん(11)は「世界のウチナーンチュにもこの取り組みを知ってほしい。チャンスがあれば10月の大会にも参加したい」と話した。

お色直しに取り組んだのは児童会役員の6年生ら。学校の中庭にあるうんていやブランコといった遊具がさび付いていたことから、お色直しを計画した。崎濱那美さん(11)は、落書きが多かったニューヨークの地下鉄の壁をきれいに塗り直すこと、険悪な駅の雰囲気が変わり治安も良くなったという話を知り、「遊具も塗り直すことで明るい雰囲気になると思い実行することになった」と経緯を説明した。色はウチナーンチュ大会の前に、世界の国旗をイメージした。7月下旬に児童らが3日間かけて完成させた。保護者会のOB有志でつくる「カユプテ会」の伊野波盛次さん(66)も手伝った。



第7回 世界のウチナーンチュ大会2022